

特別講演会のお知らせ

2026年5月20日(水)、在宅ホスピス医である川越厚先生をお迎えし、「生存被爆者のスピリチュアルペイン」と題した特別講演会を開催いたします。

被爆体験を生き延びた人々が抱える深い苦しみを、「スピリチュアルペイン」という観点から見つめ、人間の生と死、そして信仰の意味を問い直します。

広島に生きる私たちにとって重要なテーマです。ぜひご参加ください。

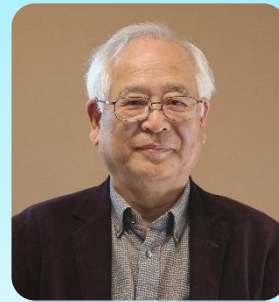
特別講演会:生存被爆者のスピリチュアルペイン

「家で死ぬこと」「生を支えること」の第一人者から学ぶ、魂の救済とケア

2014年 NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」出演、在宅ホスピスケアの先駆者である川越 厚 先生をお招きし、特別講演会を開催いたします。

■ 開催概要

- 日時: 5月20日(水) 13:00 ~ 14:30
- 会場: 広島女学院大学 砂本記念講堂
- 聖書箇所: マルコによる福音書 14章 32~38節



■ 講師紹介

川越 厚(かわごえ こう) 先生

在宅ホスピス研究所パリアン 代表 / 森の診療所 医師

1947年山口県生まれ、広島県育ち。東京大学医学部卒業。産婦人科医を経て、賛育会病院にて緩和ケア病棟を設立。2000年より「グループパリアン」代表として長年、がん患者の在宅診療・訪問看護などの地域ケアに尽力。2010年 第6回ヘルシー・ソサエティ賞受賞。

【主な著書】

- 『ヒロシマ遡上の旅 父に捧げるレクイエム』(2024年)
- 『ひとり、家で穏やかに死ぬ方法』(2015年)
- 『在宅ホスピスケアを始める人のために』(1996年)

■ 講演にあたって

長年にわたり数多くの「死」と向き合ってきた川越先生が、自身のルーツである「ヒロシマ」と、被爆者が抱える深い心の痛み(スピリチュアルペイン)について語ります。被爆体験を生き延びた人々の苦しみを「スピリチュアルペイン」という視点から見つめ、人間の生と死、そして信仰の意味を問い直します。医療・福祉を志す学生のみならず、人間としての「生き方」を考えるすべての方に、ぜひ聴いていただきたい貴重な機会です。

主催: 広島女学院大学 / YIC学院大学

お問い合わせ: 広島女学院大学 宗教センター (TEL: 082-228-0415)